

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) がん予防対策の推進
- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり
- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実
- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

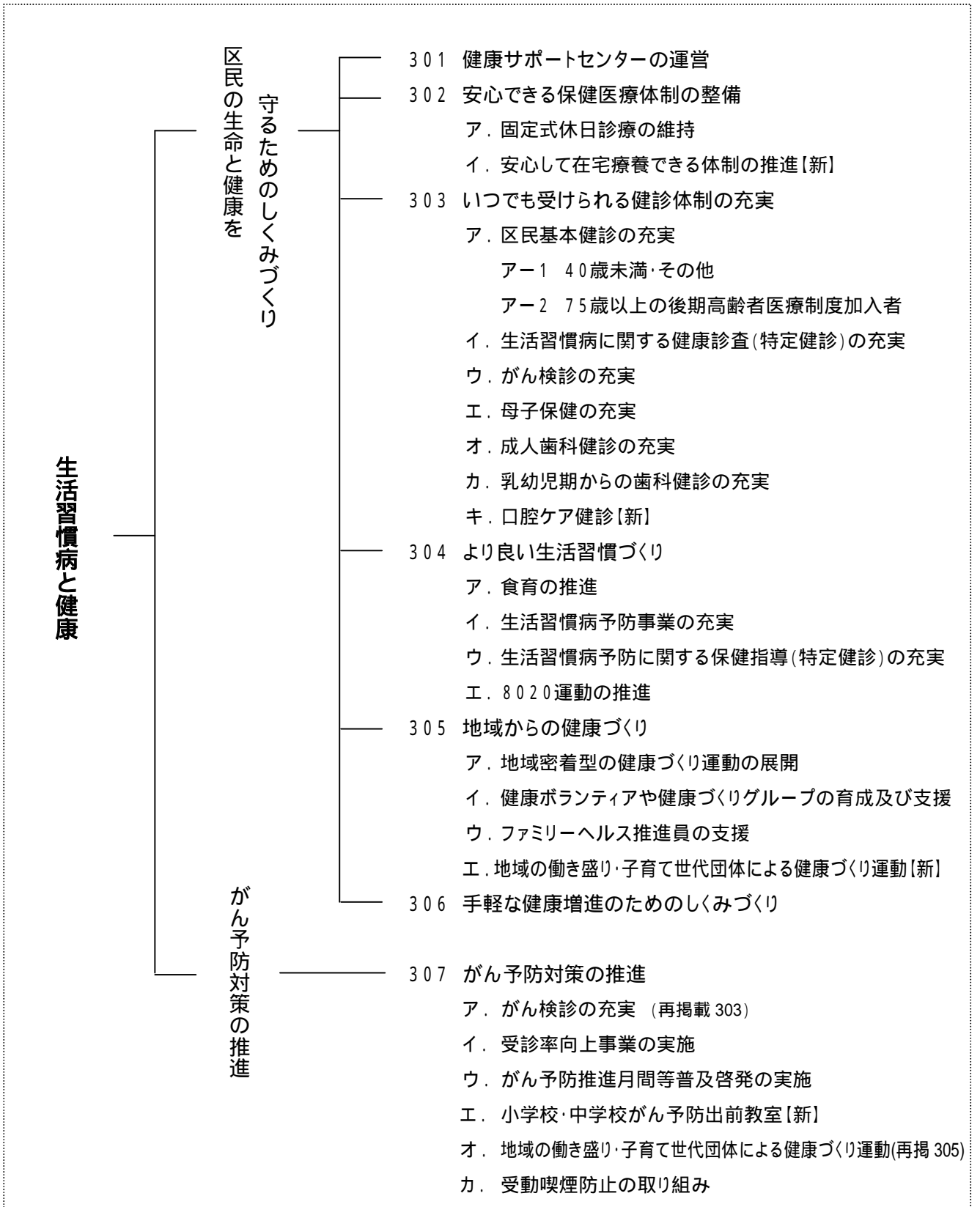
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化に伴い、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃的生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

固定式休日診療を江戸川区医師会夜間・休日急病診療所で実施します。また、従来の輪番制との連携を図ることにより、区民が安心できる医療体制の維持に努めます。

住み慣れた自宅等で安心して療養生活を継続するため、在宅医と病院が患者の情報を共有し、入院を伴う治療が必要な際に病院保有救急車を活用した搬送システムを江戸川区医師会で運営します。患者の身体的・経済的負担を減らし、退院後の速やかな在宅復帰も図ることができるため、江戸川区として支援します。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
固定式休日診療の維持	固定式休日診療事業の維持	同左	同左	
事業費	34,380千円	34,380千円	34,380千円	
安心して在宅療養できる体制の推進【新】	在宅療養サポート搬送システムへの支援	同左	同左	
事業費	9,921千円	9,921千円	9,921千円	

303 いつでも受けられる健診体制の充実

健康寿命の延伸を阻害し、介護の要因となる生活習慣病を予防するため、若年層から生活習慣病予防を意識づけさせるとともに、より受診しやすい体制を整備していきます。併せて、効果的な受診勧奨や周知を行うなど受診率向上に努めます。

妊婦健診、乳幼児健診の体制を確保し、妊娠期から乳幼児期の健康づくりの充実、母子保健の向上に努めます。

成人歯科健診では、特に若年層の受診率向上に努め、かかりつけ歯科医の普及を図るとともに、口腔ケアが全身の健康につながることを区民に広く啓発します。また、乳幼児期の歯と口腔の健康づくりの充実を進め、母子保健の向上に努めます。

口腔ケア健診では、65歳以上の区民(成人歯科健診対象者を除く)を対象に、咀嚼・嚥下機能等の健診を実施し、口腔機能保持を増進することにより、誤嚥性肺炎等の疾病予防を通じ、健康の維持・増進や介護が必要となる状態の予防を図ります。

施策コード	303	年次計画			
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)		
区民基本健診の充実	40歳未満・その他	12,740人	12,790人	12,940人	
	事業費	85,260千円	85,636千円	86,765千円	
	75歳以上の後期高齢者医療制度加入者	43,900人	45,900人	46,900人	
	事業費	488,993千円	511,281千円	522,420千円	

生活習慣病に関する健康診査 (特定健診)の充実	48,000人	45,000人	43,000人
事業費	588,891千円	552,105千円	527,567千円
がん検診の充実	124,600人	125,600人	126,600人
事業費	933,042千円	940,073千円	946,844千円
母子保健の充実	妊婦健康診査 受診費助成	同左	同左
	乳幼児健診の実施 29,160人	同左	同左
事業費	674,627千円	674,627千円	674,627千円
成人歯科健診の充実	7,420人	7,420人	7,420人
事業費	65,826千円	65,826千円	65,826千円
乳幼児期からの 歯科健診の充実	乳幼児歯科事業の実施 25,900人	同左	同左
事業費	60,730千円	60,730千円	60,730千円
口腔ケア健診(新)	口腔機能保持の増進	同左	同左
事業費	70,816千円	千円	千円

304 より良い生活習慣づくり

健康で生き生きとした生活を送るため、「食」に関わる団体等との連携を通じた食育を推進します。その中で、小中学生を対象としたメニューグランプリ、関係団体の取り組みを推進するための食育講演会等を実施し、「食育」を更に地域へ広げていきます。

健康寿命の延伸のためには、若い世代からの生活習慣が大切であり、子どもの健診等の機会を捉えて、その保護者への生活習慣改善(禁煙、栄養、運動、口腔ケアなど)を促します。更に、「減塩」を旗印にしながら、高血圧をはじめとする生活習慣病予防事業を推進します。また、特定健診の結果を踏まえ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者及び予備群に対して、生活習慣病の改善等を図る適切な保健指導を実施します。31年度(2019年度)より、保健指導期間を6か月から3か月に短縮し実施します。

口腔の健康は食べることに直結し運動機能を支える点でも重要であるため、乳幼児から学齢期、成人熟年へとあらゆる年代へのアプローチに、8020運動 を地域と連携して推進します。

8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

施策コード	304	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
食育の推進	食育推進連絡会及び 食育推進会議委員と連 携した食育の推進	同左	同左	
事業費	1,982千円	1,982千円	1,982千円	
生活習慣病予防事業の充実	イベント、相談・指導等 の実施	同左	同左	
	食生活改善の支援	同左	同左	
事業費	1,957千円	1,895千円	1,895千円	

生活習慣病予防に関する 保健指導(特定保健指導)の 充実	1,900人	2,500人	2,500人
事業費	38,327千円	50,430千円	50,430千円
8020運動の推進	周知・啓発	同左	同左
事業費	270千円	270千円	270千円

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び介護の予防を図るため、ウォーキング、介護予防等の健康課題に関する地域出前講座の実施や健康情報誌『いっば』の作成・配布等、地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケアや口腔機能の維持向上等、健康づくりについての総合的な学習の機会を提供するとともに、受講者の自主的な活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくりグループなどの支援に努めます。また、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

地域の働き盛り・子育て世代団体による健康づくり運動では、若年での生活習慣病の発症・死亡を予防するため、PTA など働き盛り・子育て世代が加入する地域の団体が楽しく運動や健診を受診するような健康づくり事業を企画・運営します。

施策コード	305	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
地域密着型の健康づくり 運動の展開	健康ウォーキング大会・ 各種健康講座等、 イベントの活用	同左	同左	
事業費	2,257千円	2,257千円	2,257千円	
健康ボランティアや健康づく りグループの育成及び支援	ボランティア・健康づくり グループの育成及び 支援	同左	同左	
事業費	127千円	157千円	127千円	
ファミリーヘルス推進員 の支援	活動支援 委嘱式	同左 8団体340名	活動支援 委嘱式	
事業費	9,747千円	9,047千円	9,747千円	
地域の働き盛り・子育て世代 団体による健康づくり運動 【新】	PTAによる健康ポイント 活用事業のモデル実施	PTAによる健康ポイント 活用事業の拡大	同左	
事業費	282千円	282千円	282千円	

健康ポイント:健康づくりの取り組みを数値化し、ポイント数に応じて表彰や賞品の贈呈を行うことにより健康づくりの継続を促す仕組み

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

(2) がん予防対策の推進

307 がん予防対策の推進

がん検診は、特に働き盛り・子育て世代で罹患が増加する大腸がん・乳がん・子宮頸がんについて、効果的な受診勧奨を実施し、受診率向上に努めます。特に、9月のがん予防推進月間に併せ、ポスター掲示やチラシの回覧等を行います。さらに、がん予防出前教室を通じて子から親への受診勧奨を実施していくとともに、健康ポイントを活用した PTA の健康づくり運動などにより、働き盛り・子育て世代の受診率向上に取り組んでいきます。

また、受動喫煙防止に関する東京都条例の制定を契機とし、小中学校でのがん予防出前教室などにおいて新たな喫煙者を増やさない取り組みを進めます。

施策コード	307	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
がん検診の充実 再掲303	124,600人	125,600人	126,600人	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
受診率向上事業の実施	クーポン事業の実施 個別勧奨の実施	効果的な勧奨の実施	同左	
事業費	5,820千円	5,820千円	5,820千円	
がん予防推進月間等 普及啓発の実施	効果的な勧奨の実施	同左	同左	
事業費	1,543千円	1,543千円	1,543千円	
小学校・中学校 がん予防出前教室【新】	小学校 26校 中学校 11校	小学校 21校 中学校 11校	小学校 24校 中学校 11校	
事業費	0円	0円	0円	
地域の働き盛り・子育て世代 団体による健康づくり運動 再掲305	PTAによる健康ポイント 活用事業モデル実施	PTAによる健康ポイント 活用事業拡大	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
受動喫煙防止の取り組み	普及啓発の実施 法令制定に伴う対応	同左	同左	
事業費	555千円	555千円	555千円	

健康ポイント:健康づくりの取り組みを数値化し、ポイント数に応じて表彰や賞品の贈呈を行うことにより健康づくりの継続を促す仕組み

「-」:事業費は、がん検診の充実(施策コード303)、地域の働き盛り・子育て世代団体による健康づくり運動(施策コード305)の中で計上しています。

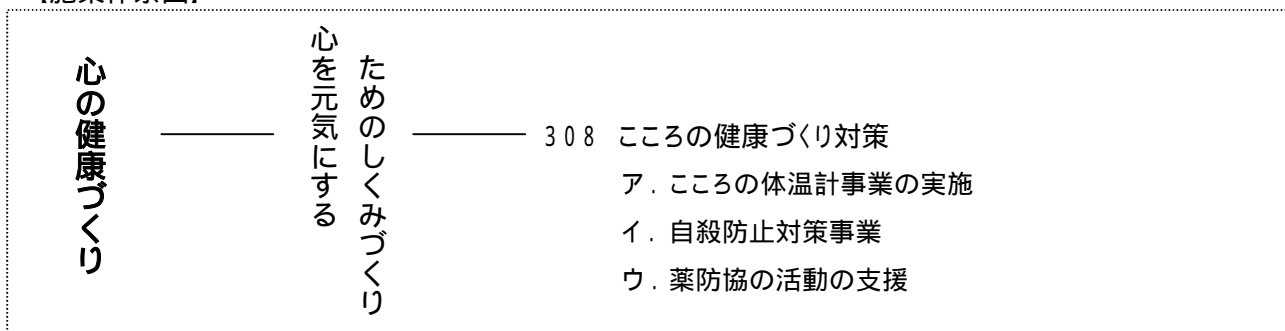
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化する中で、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりを取りまく環境はこれまでも増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

308 こころの健康づくり対策

平成30年度(2018年度)に自殺対策計画を策定し、「生きることの包括的支援」の観点からも全庁的に連携しながら事業を進めていくとともに、個人の電子機器(パソコン、スマートフォン)でメンタルヘルスチェックが可能な「こころの体温計事業」・イベントによる自殺防止の普及啓発や、区立小中学校でのSOSの出し方教育による悩みを抱えた時の対処方法の習得、「いのち見守り隊」の育成による周囲の自殺兆候の早期発見、当事者が抱え込みやすい悩み(健康問題、雇用問題等)に対応できる専門職配置によるワンストップ総合相談会、入院先の病院と連携した未遂者支援など、自殺予防・早期発見・当事者支援を組み合わせ、包括的に自殺対策を進めていきます。

東京都薬物乱用防止推進江戸川区地区協議会(薬防協)の事務局として、教育委員会や学校、警察と連携し薬物乱用防止の普及啓発活動を推進します。

施策コード	308	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
こころの体温計事業		メンタルヘルスチェックシステム	同左	同左
事業費		324千円	324千円	324千円
自殺防止対策事業		普及啓発事業(イベント等)	同左	同左
		SOSの出し方教育(授業)区内全小中学校にて実施	同左	同左
		いのち見守り隊養成講座の実施	同左	同左

(自殺防止対策事業)	当事者支援(総合相談会、自殺未遂者支援)の充実	同左	同左
	江戸川区自殺対策計画の策定	自殺対策実施の推進・評価	同左
	自殺防止連絡協議会の開催	同左	同左
事業費	7,814千円	7,814千円	7,814千円
薬防協の活動の支援	薬物乱用防止の普及啓発活動の実施	同左	同左
事業費	791千円	791千円	791千円

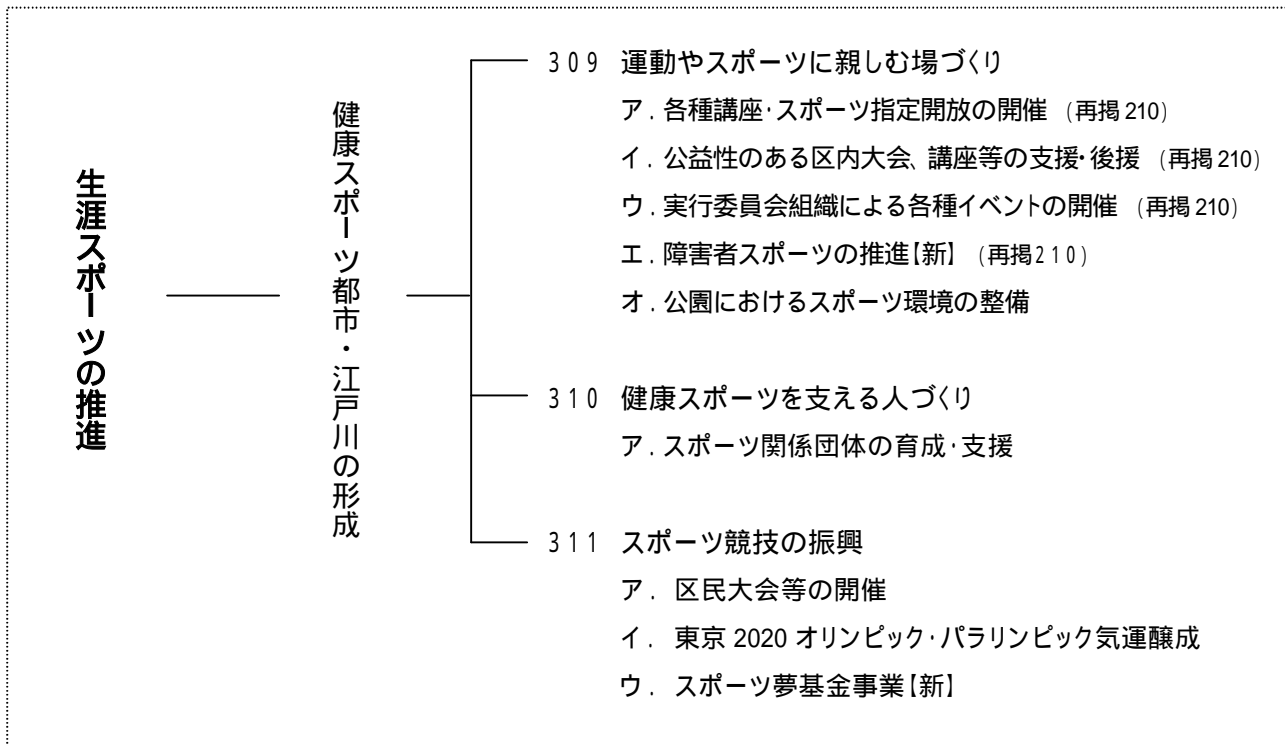
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカー場、健康の道、サイクリングロード、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さらに、誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

309 運動やスポーツに親しむ場づくり

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を図っていきます。また、各種団体と連携し、区民が安心して楽しめるマラソン大会等のスポーツイベントを開催していきます。

障害者スポーツを推進していくため、広報紙等を活用した啓発活動をはじめ、体験教室や指導者講習会等を実施していきます。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、区民のスポーツへの関心が高まっていることから、公園においてもスポーツ環境の整備を進め、区民がスポーツする場、機会の充実を図ります。

施策コード	309	年次計画		
		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
計画事業内容				
各種講座・スポーツ指定開放の開催 再掲210		開催	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

公益性のある大会、講座等の支援・後援 再掲210	支援	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円
実行委員会組織による各種イベントの開催 再掲210	実行委員会による各種イベントの開催	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円
障害者スポーツの推進【新】再掲210	啓発・体験・人材育成事業の実施	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円
公園におけるスポーツ環境の整備	新左近川親水公園の整備	—	—
事業費	129,560千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、各種講座・スポーツ指定開放の開催、公益性のある大会、講座等の支援・後援・実行委員会組織による各種イベントの開催(施策コード210)の中で計上しています。

310 健康スポーツを支える人づくり

地域スポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員や地域スポーツ推進員、初級障がい者スポーツ指導員等、健康スポーツを支える人づくりに努めていきます。また、カヌー競技の普及・振興を図るため、区カヌー協会との連携をさらに強化していきます。

施策コード	310	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
スポーツ関係団体の育成・支援	育成・支援	同左	同左	
事業費	12,269千円	12,269千円	12,269千円	

311 スポーツ競技の振興

区民がスポーツを通じて相互交流を深めるとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として区民大会を引き続き開催していきます。東京2020オリンピック・パラリンピックについては、開催に向けた気運醸成及び大会後のレガシー構築に向けて、区民一体となった取り組みを実施していきます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック等での活躍を目指しているアスリートに対し、競技活動をサポートする活動支援金を交付していきます。

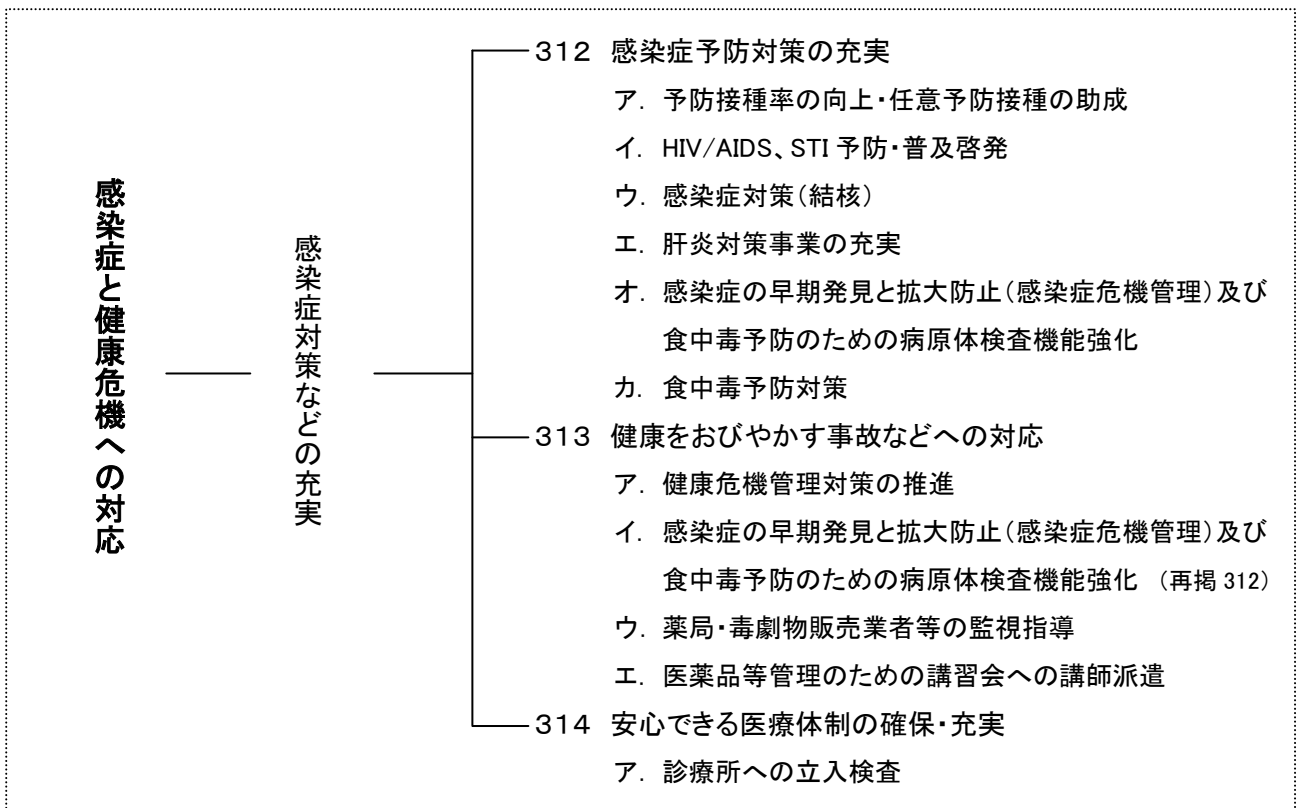
施策コード	311	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
区民大会等の開催	体育会と共催により実施	同左	同左	
事業費	18,580千円	18,580千円	18,580千円	
東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成	実施	同左	同左	
事業費	9,353千円	9,353千円	9,353千円	
スポーツ夢基金事業【新】	支援	同左	同左	
事業費	64,173千円	64,173千円	64,173千円	

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

312 感染症予防対策等の充実

疾病を防ぎ感染症の蔓延を防止するためには、効果的な予防接種の取り組みが必要です。法による定期予防接種率の向上に向けた勧奨や、妊娠を希望する 19 歳以上の女性が対象の風しん予防・高齢者の肺炎球菌ワクチン等、任意の予防接種についての費用の助成を行っていきます。また、国が今後、予防接種の定期化を予定しているものに、ロタウイルス、おたふくかぜ、帯状疱疹があります。

HIV/AIDS*及びSTI*、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV抗体及び梅毒の迅速検査、結核検診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。また、B型及びC型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るために、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止及び食中毒予防を図るため、関係部署と連携して感染症発生時の病原体検査を効率的に実施していきます。また、地方衛生研究所全国協議会等に参加し、専門知識や最新の技術を取り入れ、病原体検査機能の維持向上を図ります。

鶏の生食等を原因とするカンピロバクターやノロウイルス等を原因とする食中毒予防対策を継続して行っています。さらに、全ての食品等事業者が、円滑かつ適切に HACCP*による衛生管理に取り組むことができるよう、衛生管理計画策定の手引書の周知や、効率的な監視指導を行うことで、さらなる食の安全性の向上を図ります。

HIV(Human Immunodeficiency Virus) / AIDS: 後天性免疫不全症候群。HIVはその原因となる病原体。

STI(性感染症): 性行為により感染した疾患の総称。

HACCP(ハサップ): 従来の最終製品段階での検査ではなく、調合、密封、熱処理、冷却など製造工程の中で、あらかじめ重要な工程を定め、その工程を連続的に監視することにより、製品の安全性を確保する食品衛生管理の手法。

施策コード	312	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
予防接種率の向上・任意予防接種の助成	定期予防接種の勧奨と任意予防接種の助成	同左	同左	
事業費	1,938,446千円	1,938,446千円	1,938,446千円	
HIV / AIDS、STI予防・普及啓発	HIV / AIDS、STI予防・普及啓発の推進	同左	同左	
事業費	4,359千円	4,359千円	4,359千円	
感染症対策(結核)	感染症対策(結核)	同左	同左	
事業費	196,353千円	196,353千円	196,353千円	
肝炎対策事業の充実	肝炎健診の実施・保健指導	同左	同左	
事業費	12,380千円	12,380千円	12,380千円	
感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)及び食中毒予防のための病原体検査機能強化	関係部署との連携の強化と試験検査の効率的な実施	同左	同左	
事業費	27,775千円	27,775千円	27,775千円	
食中毒予防対策	全ての食品等事業者への指導(対象7,400施設)	同左	同左	
事業費	5,210千円	5,210千円	5,210千円	

313 健康をおびやかす事故などへの対応

感染症に関する正しい知識、感染予防策について情報提供を行います。また、新型インフルエンザ連絡会の開催、感染症危機管理システム等により、医療機関、関係機関との連携及び情報共有を図ります。併せて、新型インフルエンザ対策訓練の実施、対応体制の整備を行います。

区内における感染症の早期発見と拡大防止及び食中毒予防を図るため、関係部署と連携して感染症発生時の病原体検査を効率的に実施していきます。また、地方衛生研究所全国協議会等に参加し、専門知識や最新の技術を取り入れ、病原体検査機能の維持向上を図ります。

医薬品や毒劇物による事故を防止するため、取扱業者等の監視指導により管理徹底させます。また、薬剤師会が主催する薬剤師への講習会及び自治指導員講習会に講師を派遣し意識の向上を図ります。

施策コード	313	年次計画		
計画事業内容	30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)	
健康危機管理対策の推進	情報提供 関係機関との連携 訓練の実施	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)及び食中毒予防のための病原体検査機能強化 再掲312	関係部署との連携の強化と試験検査の効率的な実施	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円
薬局・毒劇物販売業者等の監視指導	薬局・毒劇物販売業者等の監視指導の実施 (450件)	同左	同左
事業費	2,024千円	2,024千円	2,024千円
医薬品等管理のための講習会への講師派遣	薬剤師会主催の講習会への講師派遣(2回)	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

「-」:事業費は、HIV/AIDS、STI予防・普及啓発、感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)及び食中毒予防のための病原体検査機能強化(施策コード312)の中で計上しています。

314 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施について、平成19年度から有床診療所、平成22年度から医科無床診療所、平成24年度からは歯科診療所の立入検査を実施しています。また、医師会・歯科医師会との連携に向けた取り組みを強化し、医療機関の自主管理体制を構築していきます。

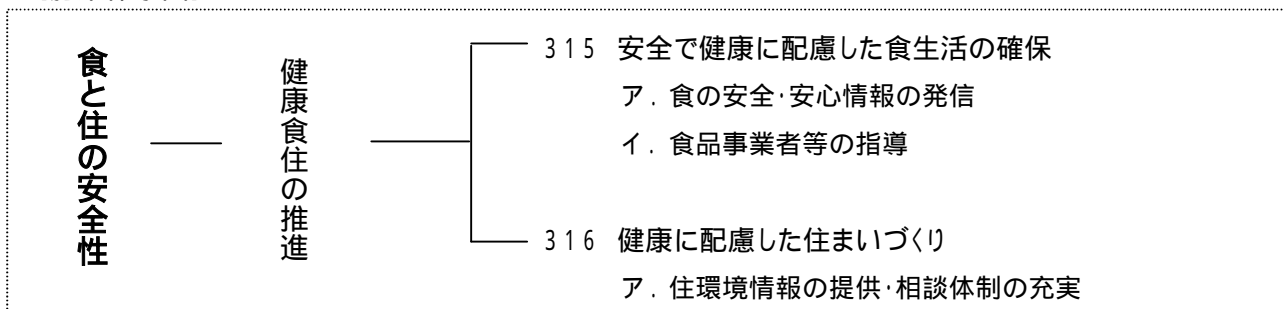
施策コード	314	年次計画		
		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
計画事業内容				
診療所への立入検査	20施設	同左	同左	
事業費	200千円	200千円	200千円	

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 健康食住の推進

315 安全で健康に配慮した食生活の確保

迅速かつ正確でわかりやすい最新の食品衛生情報を、ホームページ、ツイッター、FM えどがわ、情報誌など広く媒体を活用して発信していきます。さらに、食品衛生協会と協働し、協会ホームページなどを活用しながら、食品衛生に関する情報発信力の強化を図ります。食品衛生推進会議の提言や、区民からの意見収集により得られた知見を業務に反映させていきます。

全ての食品等事業者を対象に、HACCP による衛生管理が制度化される予定のため、主に飲食店等の小規模事業者を対象に、新たな制度に向けた衛生管理を着実に実施できるよう講習会の場で普及啓発し、併せて食品衛生協会への加入を呼びかけていきます。

HACCP(ハサップ):従来の最終製品段階での検査ではなく、調合、密封、熱処理、冷却などの製造工程の中で、あらかじめ重要な工程を定め、その工程を連続的に監視することにより、製品の安全性を確保する食品衛生管理の手法。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
食の安全・安心情報の発信		ホームページなどの情報提供の充実	同左	同左
事業費		1,494千円	1,494千円	1,494千円
食品事業者等の指導		事業者講習会受講の指導(年間16回)	同左	同左
事業費		8,621千円	8,621千円	8,621千円

316 健康に配慮した住まいづくり

デング熱等の感染症を媒介する害虫を含めた発生源対策やダニアレルゲン検査の実施、衛生害虫の駆除方法の指導など、安全な住環境に関する情報提供と相談体制の充実を図ります。

施策コード	316	年次計画		
計画事業内容		30年度(2018年度)	31年度(2019年度)	32年度(2020年度)
住環境情報の提供・相談体制の充実		衛生害虫の防除・駆除方法の普及啓発	同左	同左
事業費		553千円	553千円	553千円